

平成29年11月30日

中部地方整備局

高い防災意識を持ち続け、施設被害を最小限に！

～ 第3回中部ファシリティマネジメント研究会の開催 ～

中部地方整備局営繕部では、国家機関や地方自治体職員の方々を対象に「中部FM研究会」として講演会を開催します。

突然やってくる地震や水害などにおいて、被災後に施設被害を最小限にし、速やかに業務を再開させるには、何をどの優先順位で対策すればよいかが問われます。それには、建物の現状を正確に把握し、正しいクライテリア（判断基準）を設定することが肝要です。

本講演は、東日本大震災後の応急復旧などゼネコンが地元の人と協力して実施した内容もあり、施設管理者が被災後の対応をどのように考えればよいかという視点で紹介します。

1. 日時 平成29年12月14日（木） 14:00～16:00
2. 場所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室
3. 講演内容 1) テーマ 「**ファシリティリスクの評価手順**」
～ **正しいクライテリアの設定で被災は最小限にできる** ～
2) 講師 大成建設株式会社 ライフサイクルケア推進部
耐震推進室長 関山 雄介 氏
4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ
5. 取材要領 取材撮影の制限はありません。
6. 問合せ先 中部地方整備局営繕部調整課 課長 鳥居（内線85-5611）
課長補佐 小岩井（内線85-5612）
直通 052-953-8188